

職員による自己評価

A環境面

- ・配置は適正である
- ・高学年は走るとやや狭く感じていることもある

B児童への支援内容

- ・全体的に満足度高め

C関係機の連携

- ・他機関との関係を持つ機会がほぼない
ゆえに評価も低めである
- ・加えてコロナ禍のため必然的に機会が生まれにくい
年度であった

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・対保護者は大きな問題は感じていない

E非常対応

- ・避難訓練の実施は出来ている
- ・その他災害等の訓練も実施してもよいと思われる

保護者による評価

A環境面

- ・満足度高い。
- ・PT、OTを配置してほしい 1名

B児童への支援内容

- ・他機関との関わりは必要性がないという意見が多い
- ・事業所での支援内容については満足のご意見多数
- ・療育時間拡充の希望あり 1名

C事業所からの情報発信

- ・多くの方がご不満はなし

D非常対応

- ・各種マニュアルを改めて見たいというご意見あり 1名

事業所内での分析

【共通点】

- ・全体的に、180度相違になる項目もなし
- ・不審者対応訓練等の実施

【相違点】

- ・療育スペースに関しては、実際の療育にあたるスタッフがより子供たちの様子をリアルタイムで感じているため、療育内容によっては時折狭さを感じる日もあるよう。
- ・マニュアルを定期的に保護者に見てもらえることで、療育に対する安心にも繋がる側面があるよう
- ・療育時間の拡充のご希望あり

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・現在の事業所に対する直接的なご不満等はほぼ無いため、今の療育を信じ実践していく
- ・保護者・各家庭との信頼関係は良いものを築くことが出来ていると感じる
- ・何より、利用している児童がそれぞれ楽しく通うことが出来ていること

事業所の改善点

- ・各種事態を想定とした訓練を実施
- ・各種マニュアルの整備、回覧を実施

事業所の改善への取り組み

- ・通常の避難訓練同様、各種事態を想定した訓練を実施していく
- ・マニュアルを整備しなおし、ご希望がある保護者様へ回覧していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・今年度も大変満足しているという保護者様の意見を頂戴することが出来ました。子どもたちの楽しさを大切に考え、安全に充分配慮し、現状に満足することなく、より良い質の高い療育を日々目指してスタッフ一同取り組んでいこうと思います。
- ・各種訓練・各種マニュアル等を見直し、整えます。

事業所名 のびの木泉下飯田

担当者 高山 大輔